

マレーシア・アセアン家禽病研究訓練計画
評価調査報告書

平成3年3月

国際協力事業団

JICA LIBRARY



1093042(8)

22878

マレーシア・アセアン家禽病研究訓練計画
評価調査報告書

平成3年3月

国際協力事業団



マイクロ
フィルム作成

序 文

マレーシア・アセアン家禽病研究訓練計画は、1986年4月17日に署名された討議議事録(R/D)に基づき、家禽病(主に鶏病)の研究水準の向上を図り、アセアン諸国の家禽衛生技術者の訓練を通じて、その研究成果、開発された技術の普及を行い、もってアセアン諸国における家禽病研究防疫の人材開発に貢献することを目的とし、同日より5年間の予定で協力が行われてきました。

今回、プロジェクトの終了を約6ヶ月後に控え、1990年11月15日から12月15日までの25日間、元農林水産省家畜衛生試験場研究第一部長・國安主税氏を団長とする評価調査団を派遣しました。

本調査団は、マレーシアにおける合同評価調査の前に、フィリピン、インドネシア及びタイにおいて、本プロジェクトのアセアン諸国における評価、鶏病研究体制及び技術水準等を調査・把握のうえ、マレーシア側評価チームと合同で、これまでの活動実績、目標達成度等について総合的な評価を行うとともに、協力期間終了後の対応策等について協議・検討を行いました。

調査結果は日本・マレーシア双方の評価チームによる討議を経て、合同評価報告として取りまとめられ、署名のうえ両国政府関係機関に提出されました。

本報告書はこの合同評価報告書をもとに日本側調査団としての調査及び協議の結果をとりまとめたものであり、今後広く関係者に活用され、本プロジェクト並びに関連する国際協力の推進に寄与することを願うものであります。

最後に、本調査の実施に当たりご協力を頂いたマレーシア政府関係機関及び我が国関係各位に対して、厚く御礼申し上げるとともに、本プロジェクトに対するなお一層のご支援をお願いする次第です。

平成3年3月

国際協力事業団

理事 田 口 俊 郎

